

(科目名) 森里海連環学 - 森・川・海と人のつながり -
 (英訳) Linkage of Forest, Human and Coastal Ecosystems

(群) B群
 (単位数) 2単位
 (開講期) 前期
 (週コマ数) 1コマ
 (授業形態) 講義
 (対象回生) 全回生
 (対象学生) 全学向
 (曜時限) 金4

(所属部局) (職名) (氏名)

フィールド科学教育研究センター	教授	山下	洋
	非常勤講師	白山	義久
フィールド科学教育研究センター	教授	柴田	昌三
フィールド科学教育研究センター	教授	吉岡	崇仁
フィールド科学教育研究センター	准教授	徳地	直子
フィールド科学教育研究センター	准教授	長谷川	尚史
フィールド科学教育研究センター	特定准教授	佐藤	真行
フィールド科学教育研究センター	講師	中島	皇
フィールド科学教育研究センター	助教	中山	耕至
	非常勤講師	畠山	重篤
防災研究所	准教授	竹門	康弘
	非常勤講師	中野	孝教
生態学研究センター	准教授	谷内	茂雄

(授業の概要・目的)

わが国の自然環境は、森林生態系、沿岸海洋生態系およびその間に位置し人間活動の影響を強く受ける里域生態系により構成されており、これらは河川などを介して相互に不可分に連環している。従来、生態系は個々のユニットごとに研究されてきたが、圧倒的な人間活動のインパクトは、個々の生態系の枠組みを超えて生態系間の循環に大きな影響を与えており、人類の生存のためには、複合的な自然生態系と人類との共存システムの解明が不可欠である。本科目は、河川を通した森と里と海の生態系間のつながりを理解するために、「森里海連環学」という新しい学問領域を、リレー講義を通して受講生とともに創生しようという新しい試みである。

(授業計画と内容)

森と里山の生態	柴田昌三
森里海間の物質循環 - 栄養塩	徳地直子
森里海間の物質循環 - 水と土砂	中島皇
森里海間の物質循環 - ミネラル成分	中野孝教
森林の利用と保全	長谷川尚史
琵琶湖の農業濁水と流域管理	谷内茂雄
森の恵みと海の恵み	畠山重篤
河川生態系の構造と機能	竹門康弘
魚類から見た河口域の構造と機能	中山耕至
森里海の連環と経済	佐藤真行
流域環境における人間・自然相互作用系の研究	吉岡崇仁
里海の生態と保全	山下洋
沿岸海洋域の生態	白山義久

森里海連環学 - 森・川・海と人のつながり - (2)

フィールド科学教育研究センターの教員を中心に、第一線の研究者や社会運動家によりリレー講義を行う。“生態系の連環”は新しい学問であり、受講生との論議等を通して新しい観点や価値観の創造を目指す。1課題あたり1-2週の授業を行う予定であり、上記は講義の順番を示すものではない。

(成績評価の方法・基準)
出席とレポートの評価

(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))
環境問題は、経済、法律、社会と密接に関係します。文系の学生の受講を歓迎いたします。夏休み期間中に、本科目と直接関係する森里海連環学実習が開講されます。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。

(分類) 環境と生物学

(履修要件)
高校での生物の履修経験は不要。

(教科書)
使用しない
(参考書等)
京都大学フィールド科学教育研究センター 『森里海連環学』(京都大学学術出版会)
ISBN:978-4-87698-689-7-C3045
山下洋・田中克 『森川海のとつながりと河口・沿岸域の生物生産』(恒星社厚生閣)
ISBN:978-4-7699-1075-6 C3362

(関連URL)
<http://fserc.kais.kyoto-u.ac.jp/>